

千代田区まちづくりプラットフォームの あり方の概要

千代田区のみちの変化



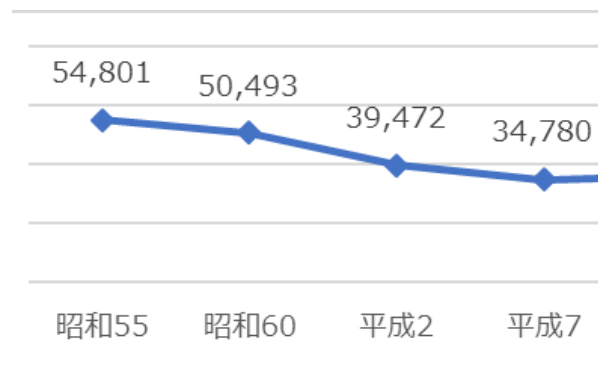
まちは変化する 進化するもの

地価高騰

業務地化

価値観の
多様化

人口減少により
自治体存続の危機…



人口回復を
目指して

区の方針

建築・開発の誘導

住機能の回復

まちづくりを先導してきた千代田区の主な取り組み

・ 住宅付置制度

大規模な開発事業にあわせて、良質な住宅の供給と良好な住環境の整備を図る制度



・ 地域ごとの地区計画

それぞれの地区の特性に応じて、建物の建て方や使い方などを定める制度



・ 再開発

細分化された土地を統合し、建物や公共施設を確保することで、災害に強い安全で快適なまちづくりを行う事業



開発や公共施設整備などのまちづくりの進め方

住宅付置制度や地区計画と比べ、再開発や公共施設整備は多くの関係者が存在する

多様なまちづくりの関係者

民間事業者Ⅰ 町会 地域団体
民間事業者Ⅱ 地権者Ⅰ 地域住民 来街者 教育機関
鉄道事業者 地権者Ⅱ 通勤通学者 施設利用者



A地域
まちづくり協議会

B地域
まちづくり検討会

C地域
まちづくり実行委員会

エリアプラットフォーム
(まちづくりのための協働と合意形成の場)

まちづくり協議会の運営状況は様々

A地域の将来像が
わかった！

A地域



まちづくり協議会

A地域のルールが
わかった！

合意形成



具体的取組が進む

知らない間に開発が
進んでいる…

B地域



まちづくり協議会

意見を聞いて
もらえない…



反対！！
(事業が停滞)

しかし、共通していることは…

まちづくり協議会の運営状況が様々な中で、共通していることは
“よいまち” にしたいということ

坂があっても
自由に
移動したい

子どもが
遊ぶ場所が
欲しい

建物を
建てたい

忙しい若い人も
地域に
関わられるように
したい

高齢者
サロンが
欲しい

道づくりを
進めたい

町内会が
盛り上がると
よい

千代田区の
ブランドは
維持したい

子育て
支援施設が
増えると嬉しい

お祭りなどの
イベントを
継続的に
実施したい

外国人にも
住みやすい



よいまちの実現には想いを理解し、つなげていくことが重要

坂があっても自由に移動したい

建物を建てたい

子どもが遊ぶ場所が欲しい

町内会が盛り上がるとよい

忙しい若い人も地域に関われるようにしたい



道づくりを進めたい

千代田区のブランドは維持したい

子育て支援施設が増えると嬉しい

高齢者サロンが欲しい

外国人にも住みやすい

お祭りなどのイベントを継続的に実施したい

よいまちを実現するためには

関係者の理解



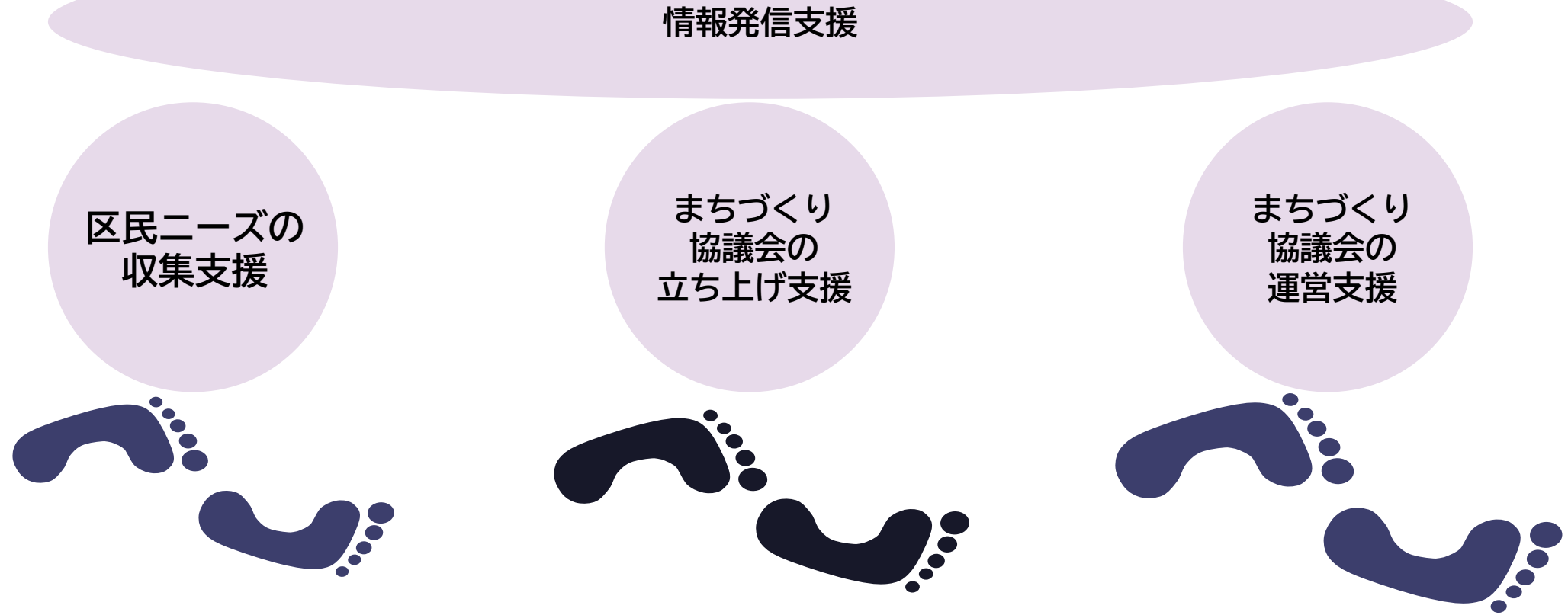
想いを實現し、つなげていくこと

支援



千代田区まちづくりプラットフォーム

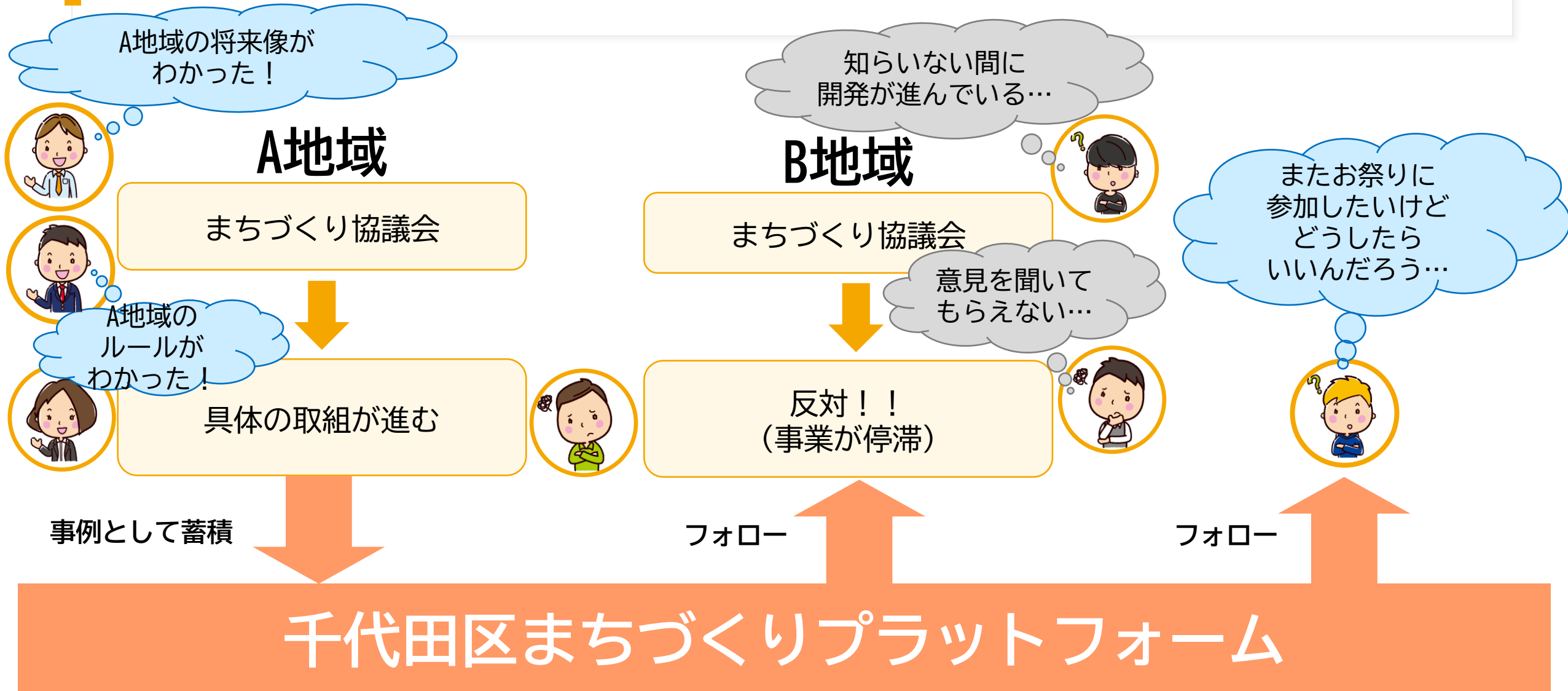
千代田区まちづくりプラットフォームとは



千代田区まちづくりプラットフォーム

地域のまちづくりに対して、話し合う場の創出や運営を支援します

千代田区まちづくりプラットフォームの支援例



千代田区まちづくりプラットフォームによって

まちづくり協議会の立ち上げや
運営の支援を通じて、
みなさんの想いの実現を
目指します。



公開空地を使った広場整備のイメージ



歩きやすい道路空間のイメージ



お祭り開催のイメージ



地域の活動のイメージ



空間の供給に関する取組のイメージ



活動の需要に関する取組のイメージ

プラットフォームの実現に向けて

今後も、千代田区まちづくりプラットフォームの実現に向けて議論を重ねていきます。



組織体制の 具体化

運営方法や
地域との関わり方
などについて、
検討していきます。



情報発信 サイトの構築

誰もがまちづくり
に関する情報を
入手しやすい環境
づくりに取り組ん
でいきます。



関係者の 理解を深める ための方法

ICTを活用した方
法など、効果的な
まちづくりの
進め方を検討して
いきます。



誰もが 参加しやすい 仕組み

多くのみんなが
まちづくりに
関われる仕組みを
検討していきます。



テーマ型の まちづくり

町会のコミュニ
ティづくりなど
多様なテーマにつ
いても取り組むこ
とができる仕組み
を検討します。